

Graduation Policy (GP)	
記入者氏名	
記入年月日	2006年4月1日
学部・研究科名	教育学部
学科・専攻等名	健康科学教育課程
コース等名	生活健康科学コース
細分名	
教育学部の教育目的（具体的に記述・箇条書き）	
<p>学校教育および社会のさまざまな分野において教育の素養をもって貢献できる人材の養成を目的とする。</p>	
教育学部の Graduation Policy（具体的に記述・箇条書き）	
<ol style="list-style-type: none"> 1．人間と教育に関わる事象を、問題意識をもって思考、調査、分析することができる。 2．自らの思考、調査、分析の結果を適切な方法で表現することができる。 3．自らの専門において習得した知識や能力を、実践に活用することができる。 	
健康科学教育課程の教育目的（具体的に記述・箇条書き）	
<p>人と健康の関わりについて、運動面、生活面から科学的視点に立って理論的、実践的に学習し、心身ともに健康であることの意義を理解し、それを維持することの課題、諸問題を把握、解決できる人材を育成する。</p>	
健康科学教育課程の Graduation Policy（具体的に記述・箇条書き）	
<p>高齢社会を迎えた我が国で、生涯にわたって健康を維持し、活力ある人生を送るための課題について、運動科学および生活科学の視点から多面的、総合的に考え、実践することができる、さらに健康づくりに指導的な役割を果たすことができる。</p>	
生活健康科学コースの教育目的（具体的に記述・箇条書き）	
<p>人間の健康な生活における衣食住に関心を持ち、この分野で教育や社会の幅広い場面に貢献できる人材を育成する。</p>	
生活健康科学コースの Graduation Policy（具体的に記述・箇条書き）	

- A 就学計画能力：生活健康科学コースにおいて何を学ぶか、生活と健康の概念を得る。また、生活健康科学コース教育プログラムの学習・教育目標を把握し、自ら修学プランを立案できる。
- B 健康科学基礎能力：健康の根本となる人体の構造、運動、食、住に関する基礎知識を習得し、健康であることの意義を科学的に考えることができる。
- C 生活科学系能力：衣・食・住を生理的、科学的な視点から考え直すことができ、生活上の諸問題を自らの問題としてとらえ、解決するよう努力することができる。
- D 生活論系能力：生活の基本単位である家族、乳幼児の心身の発達から人間関係のあり方を理解し、社会面から健康について考えることができ、かつ生活に応用することができる。
- E 専門応用能力：これまで学んできた知識を統合・発展し、生活と健康にかかわる諸問題の中から自らテーマを決め、それについて探求、論文にまとめることができる。
- F 教育系能力：健康であるための生活上の問題点を科学的視点から理論的に説明でき、健康な生活を維持するための方法を教育・指導・実践できる。さらに、希望者は教員免許状取得のための教育プログラムを学習し、教員として児童、生徒を指導できる。
- G 進路計画能力：生活健康科学に関連する産業界の動向、就職環境などを把握して、将来の進路を展望し、自らの進むべき方向を決定できる。